

2010年 年頭所感 および活動報告と今後の事業計画

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

ここに新たな2010年を迎えるにあたり、ご挨拶させていただくとともに、一年間の活動報告並びに今後の事業計画に関してご案内申し上げます。

2009年は当協会が設立10周年を迎えた節目の年でありました。また、半世紀ぶりの改正薬事法が全面施行（6月1日）された薬業界の歴史において、記憶に残る画期的な年でもありました。

当協会におきましては、施行前に一般社団法人 日本薬業研修センターの協力のもと、「改正薬事法解説と対応マニュアル」を全薬務課・保健所に送付し、全国統一の指導を目指しました。おかげさまで一部に若干見解の異なる指導も見られましたが、おおむね改正薬事法の主旨に沿った販売が行なわれております。

しかし、第1類医薬品の一時的な売上ダウンが起こるなど、改正薬事法本来の主旨であるセルフメディケーションの推進のための活動は、まだまだこれからであると考えています。

私たちJACDSはこれを機に、生活者により身近な健康ステーションとして活動し続けていけるよう、より一層のさまざまな活動を行なってまいります。

報道関係の皆さまには、引き続きJACDS活動に対し、ご協力並びにご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 年頭所感
2. ドラッグストア業界の課題
3. 2009年の実施内容と今後の事業計画
4. 第10回 JAPAN ドラッグストアショー開催概要

本件に関するお問い合わせ先

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階

TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569

1. 年頭所感

新年 明けましておめでとうございます。

さて、昨年は当協会設立 10 周年を迎えた記念すべき年でした。また、薬業界の歴史において大きな転換となる改正薬事法が施行された年でもありました。設立以来の 10 年間に総括し、新たな 10 年に向けて決意も新たにするとともに、改正薬事法の完全実施に積極的に取り組んでまいりました。

本年は改正薬事法施行から一年を経過する年であり、その主旨であるセルフメディケーション推進に向けた具体的活動を積極的に行なってまいります。

特に、今年の活動方針を上げますと、大きく次の 3 項目になります。

1. 業界発展に向けた活動を一層強化する

JACDS は会員企業を中心に医薬品業界の発展に関する様々な活動を行なってまいります。

- 1) セルフメディケーション推進の具体的活動を促進する
- 2) 業界発展に向けたインフラ事業の普及促進を図る
- 3) 人材育成事業を積極的に推進する

2. 健康産業育成を建議・意見具申する

日本薬業連絡協議会に積極的に参加し、薬業界および健康産業育成に関する意見具申を行なってまいります

- 1) 薬業界における意見交換・討議を積極的に行なう
- 2) 行政に対する意見具申および意見交換を積極的に行なう
- 3) 予防・未病改善への取組みの重要性を訴える

3. 社会貢献事業の普及・推進を図る

日本社会の発展を目指し、貢献活動への取組みを一層推進してまいります。

- 1) 犯罪防止活動（万引き防止への取組み強化）
- 2) 地球温暖化対策への協力活動
- 3) 難病と闘う子どもたちへの支援活動の拡大

今年はいくつかを活動方針として、さまざまな委員会およびプロジェクト活動を行なってまいります。

ドラッグストア業界は国民の健康維持・増進に一層の貢献をするため、大きく変わろうとしています。JACDS はこのドラッグストア業界発展を確実かつ速やかに進めるため、会員を牽引するための活動を強力に行なってまいります。そして、2015 年 10 兆円産業という大きな目標を実現いたしたいと思っております。

どうか、報道関係者並びに業界関係者の皆さまの絶大なるご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

2010 年 1 月 1 日

日本チェーンドラッグストア協会
会長 寺西 忠幸

なお、昨年の事業内容と本年取り組む具体的な事業内容は添付した別紙をご覧下さい。【第 84 号-3】

2. ドラッグストア業界の課題

今後のドラッグストア業界における課題に対し、積極的な活動を行なってまいります。その主な 6 項目は次のとおりです。

1. スイッチ OTC の拡大

生活習慣病・慢性疾患用の予防・未病改善薬をスイッチ OTC 化することにより、セルフメディケーションが一気に進む可能性が高まるものと考えます。第 1 類医薬品の売上拡大施策や市販後調査（PMS）への協力、拡大推進のための制度改革提案などを行なってまいります。

2. 薬剤師および登録販売者の資質向上

一般用医薬品販売においてはきちんと情報提供を行なうことで安全性が担保され、薬が有効に作用します。日々新しく開発された薬、スイッチされた薬の知識を薬剤師や登録販売者がしっかりと身につけ、的確な情報提供ができるように努めてまいります。

3. 面分業調剤の推進

ドラッグストアが面分業を行なうための活動を強化します。

4. 医師・薬剤師連携に向けた研究

患者に対する医師の役割と薬剤師の役割を通して、どのような連携が理想的状態であるかを研究します。

5. 効率的経営の普及推進

E D I などの流通システム標準化、カテゴリーマネジメントなど、小売業界における効果的・効率的経営を推進する仕組みの普及推進に努めます。

6. 社会貢献活動の推進

そらふちキッズキャンプの支援募金拡大や地球温暖化防止対策の推進（改正省エネ法施行）、そして緊急連絡網の整備やキャンペーンを通して、万引き防止に対する取組みなどを行ないます。

3. 2009年の実施内容と今後の事業計画

■ 2009年の実施内容

1. JACDS設立10周年記念式典の開催
2. 新・一般用医薬品販売制度の完全実施に向けた活動と生活者への告知活動
3. 第9回JAPANドラッグストアショーの開催
4. 「そらぶちキッズキャンプ」支援募金活動の拡大
5. 薬剤師支援活動の実施（JACDS勤務薬剤師会の設置）
6. 第1類医薬品販売強化プロジェクトの実施（総合マニュアル、教育資料データのHPアップ）
7. 新型インフルエンザ対策の実施（ガイドライン、教育&店頭用DVD）
8. 一般社団法人 日本医薬品登録販売者協会への入会斡旋
9. 防犯対策への取り組み強化（緊急連絡網の構築、警視庁との連携、万引き防止キャンペーン）
10. 面分業、セルフメディケーションの推進活動（レポートの作成と、第4回SMアワードの実施）
11. スイッチOTC拡大に向けた活動
12. カテゴリーマネジメントにおけるカテゴリー分析テンプレートの開発
13. EDI普及に関する研究活動
14. 海外視察セミナーの実施（英国、米国）
15. 地球温暖化対策への啓発活動
16. 城西大学インターンシップ対応
17. 記者意見交換会の実施（毎月）

■ 今後の事業計画

I 基本政策

1. セルフメディケーションの推進
（スイッチOTC拡大、医師と薬剤師の連携への提案、薬剤師の職域拡大）
－2015年 10兆円マーケットの実現－
2. 業界内のインフラ整備
人材育成・資質向上、効率的流通システムの普及
3. 豊かな社会実現に向けた建議
ドラッグストアの健康ステーション化の提案、健康産業発展の提案

II 具体的実施内容<各委員会活動の総括>

1. 改正薬事法運用への対応

- 1) 運用における問題点の研究と、提案
- 2) 法解釈の研究と、提案

3) 日本薬業連絡協議会での討議

2. 人材育成

- 1) 登録販売者受験対策支援の継続実施
- 2) 薬剤師の資質向上支援（JACDS 勤務薬剤師会）
- 3) アドバイザー認定制度の一層の普及推進
- 4) JACDS 勉強会やセミナーの実施
- 5) 城西大学インターンシップの実施
- 6) 薬学教育 6 年制における実務実習への協力

3. 面分業の推進

- 1) より効果的かつ効率的な医薬分業体制の検討
- 2) 代替調剤、テクニシャン制度、リフィル処方などの研究
- 3) 処方せん応需体制ガイドラインの検討

4. セルフメディケーションの推進

- 1) スイッチ OTC 拡大を目指したレポート作成と多方面への働きかけ
- 2) 市販後調査（PMS）のシステム化と実施協力
- 3) 第 5 回セルフメディケーションアワードの実施
- 4) 医師と薬剤師の新しい連携の研究
- 5) 薬剤師の職域の拡大の研究

5. 会員サポート事業

- 1) 社会貢献活動（支援募金、地球温暖化対策）に関する情報提供と普及推進
- 2) EDI の普及推進
- 3) JACDS 版カテゴリーマネジメントの普及推進
- 4) 防犯対策への取り組み強化（万引き防止）の推進（緊急連絡網の整備など）
- 5) 顧問団による会員サポートの充実
- 6) 「ゆき過ぎた行政指導」への対応
- 7) その他

6. 行事・イベント

- 1) 第 10 回 JAPAN ドラッグストアショー ※別紙「開催概要」参照
2010 年 3 月 12 日（金）13 日（土）14 日（日）千葉・幕張メッセ
- 2) カテゴリーマネジメント事例発表会
- 3) EDI 特別セミナー
- 4) 第 5 回セルフメディケーションアワード発表会&表彰式
以上、3 月 12 日（金）第 10 回 JD ストアショー同時開催
- 5) 各種セミナー・勉強会の開催（予定）
 - (1) 米国視察セミナーの定期的開催
 - (2) 流通システム標準化普及に向けた勉強会
 - (3) JACDS 会員合同勉強会
 - (4) その他（各種フォーラムの開催など）

4. 第 10 回 J A P A N ドラッグストアショー開催概要

- テーマ** ドラッグ新時代！
生活提案でセルフメディケーション推進、健康で美しいあなたに
- 会 期** 2010 年 3 月 12 日(金)、13 日(土)、14 日(日)
開催時間 10:00～17:00 (3 日間)
3 月 12 日、13 日バイヤーズデイ、13 日、14 日一般公開日
- 会 場** 幕張メッセ 4・5・6・7・8 ホール
- 主 催** 日本チェンドラッグストア協会
- 協 賛** オールジャパンドラッグ(株)、(株)ニッド・日本ドラッグチェーン
- 後 援** 厚生労働省、経済産業省、千葉県、千葉市、中国チェンドラッグストア協会、
全米チェンドラッグストア協会、日本 OTC 医薬品協会、日本貿易振興機構、
(株)プラネット
- 入場料** 無料
- 来場見込** 約 12 万人 (3 日間延べ人数)
- 見 所**
- テーマイベント**
改正薬事法に基づく、新しい売り方と提案をメインに、新しい時代に対応するDg.Sの取り組みや社会的役割を明示する。
また、JACDS活動PR(アドバイザー制度、登録販売者受験支援制度)やセルフメディケーションクイズラリーなども実施する。
 - 促進イベント**
“みんな元気で美しく2010”をテーマに、今回はパネルや商品展示など静的な展開を極力抑え、参加型・体験型の動的展開を中心に実施する。
「ヘルスチェック体験コーナー」をはじめ、「ビューティチェック体験コーナー」、「禁煙道場」、「フェイシャルケア体験コーナー」、「アイメイク体験コーナー」、「ネイルケア体験コーナー」、「フィジカルケア体験コーナー」や「物産展」などを展開する。
 - 新商品コレクション**
サンプル引換券でコレクションブースから当該出展社ブースまでの誘導を図り、恒例の好感度投票も実施する。
第 9 回は 107 社、279 品を展示。小売業にとって、重要な情報収集コーナーのひとつとして展開する。
 - 企画セミナー**
ビジネス向けの「ビジネスセミナー」と一般生活者向けの「ヘルス&ビューティセミナー」を実施する。展示会場内で業界向け(BtoB)と生活者向け(BtoC)を対象とした、改正薬事法施行後の総括と今後の戦略や新型インフルエンザ予防対策など最もホットなテーマに基づいたセミナーを実施する。
 - 同時開催イベント**
カテゴリーマネジメント事例発表会、第 5 回セルフメディケーションアワード、アドバイザー更新セミナーを国際会議場及び国際展示場において同時開催する。